

# 石川で実務者報告会開く

## 地盤工学会70周年記念事業

北陸支部

松本樹典氏が「基礎構造物に関わる最近の動向や今後の展望」について特別講演し、新しい杭の施工法などを紹介した。石川県建設コンサルタント協会、石川県建設業協会が後援。報告会終了後、記念交流会も催した。

年を記念して金沢大学教授で北陸支部副支部長の

地盤工学会北陸支部は31日、地盤工学会創立70周年北陸支部記念事業「2019年度地盤工学会に関する実務者報告会：石川地区」を金沢勤労者プラザ研修室で開催した。写真。

石川、富山両県の地質調査業や建設業、コンサ

ルトアントの技術者約60人が参加。同日は新潟地区でも同時開催され、ピテオレターで大塚悟支部長は「本学会創立70周年と支部創立60周年にあたり、実務の成功例や失敗例を報告し、貴重な技術経験を多くの会員が共有することにより、互いの

技術力の向上に役立ててほしい」と話した。

南建設の森下

正明工務部長が

「深層混合処理

工における施工

上の工夫」、坂

田技術士事務所

の坂田和幸氏が

「楡原層での変

位対策」について

事例報告した

ほか、創立70周

